

1 単元名 自分の考えを文章で伝えよう

2 単元目標

- (1) 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。(関心・意欲・態度)
- (2) 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。(書く能力)
- (3) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。(知識・理解)

3 取り上げる言語活動と教材

- (1) 言語活動 意見文を書く
- (2) 教材 評論文

4 具体的な評価規準

関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解
表現の仕方についての評価を通して得たことを、論理の構成や展開を工夫して書くことに生かし、説得力のある文章にしようとしている。	表現の仕方についての評価を通して得たことを、論理の構成や展開を工夫して書くことに生かし、説得力のある文章にしている。	書くことに必要な文章の組立てについて理解している。

5 指導と評価の計画（全6時間 本時は3時間目）

次	具体的な評価規準と評価方法	学習活動
1 (1時間)	【評価規準】知識・理解 書くことに必要な文章の組立てについて理解している。 【評価方法】 「記述の点検」	○文章の組立て等について確認する。 ① 単元目標を理解した上で、学習の見通しを持つ。 ② 評論文を読み、語句の意味や用法を確認しながら内容を把握し、段落ごとに要点をまとめる。 ③ グループ（4人）に分かれ、文章の構成を確認し、優れている点を指摘する。 ④ 文章の組立てや文章の型について説明を聞く。
2 (3時間)	【評価規準】書く能力 表現の仕方についての評価を通して得たことを、論理の構成や展開を工夫して書くことに生かし、説得力のある文章にしている。 【評価方法】 「記述の分析」	○自分の考えを的確に伝える文章を書く。 ① 評論文の書き手の、ものの見方、感じ方、考え方に対する自分の考えをまとめる。 ② 文章の組立てを考え、評論文の表現を参考に意見文を380字以上400字以内で書く。 ③ 意見文について相互評価を行う。 ④ グループ（4人）に分かれ、相互評価を参考にしつつ、説得力のある文章の条件について話し合う。 ⑤ グループで話し合ったことを発表する。 ⑥ 自分の考えを的確に伝える上で必要なことを確認する。 ⑦ より説得力のある文章になるよう意見文を書き直す。 ⑧ 相互評価を行い、自分の書いた意見文を振り返る。

3 (2時間)	<p>【評価規準】関心・意欲・態度 表現の仕方についての評価を通して得たことを、論理の構成や展開を工夫して書くことに生かし、説得力のある文章にしようとしている。</p> <p>【評価方法】 「記述の分析」</p>	<p>○学習を振り返る。</p> <p>① グループ（6人）に分かれ、意見文をグループ内で読み合う。</p> <p>② 読んだ意見文について質問をしたり、意見交換をしたりして、他者の考えに対する理解を深める。</p> <p>③ 他者の考えに対する自分の考えをまとめ、意見文を380字以上400字以内で書く。</p>
------------	--	---

※ 「次」は、学習のまとまりを示している。本単元は、6時間の配当を想定している。生徒の実態に即して計画を立てる。

6 本時の学習展開（2次の2時間目）

	学習活動	指導上の留意点	評価方法
導入 (4分)	<p>前時までの学習を振り返り、本時の目標を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに書かせた意見文を読ませて前時の学習を確認させる。 本時の学習について知らせる。 	
	<p>目標 相互評価を通して自分の書いた文章の改善点を明らかにする。</p>		
展開 (41分)	<p style="text-align: center;">ペアワーク</p> <p>① 2人組になり、意見文を交換して読み合う。</p> <p>② 読んだ意見文について評価する。</p> <p>③ 評価を読み、評価者に質問したり、内容や表現等について意見交換をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 座席の隣同士で2人組を作らせる。2人組が作れない場合は、3人組とする。(2分) ワークシート（前時に書かせた意見文）を交換させ読ませる。 読み終わったら意見文の評価をワークシートに書かせる。評価は、良い点と改善点を書くよう伝える。 読んでから評価を書き終えるまでの時間は7分であることを伝え、評価を書き終えたら、ワークシートを返却させる。(7分) 評価を読ませ、質問や意見交換をさせる。(4分) 座席の前後で2人組を作らせ①②③の学習活動を行わせる。(13分) 	
	<p style="text-align: center;">グループワーク</p> <p>④ 4人グループに分かれ、相互評価を参考にしつつ、説得力のある文章の条件について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 話合いの時間は、8分であることを伝える。 話合いを終えたら、グループでまとめたことを黒板に書かせる。(10分) 	
	<p style="text-align: center;">個別</p> <p>⑤ 自分の書いた意見文について自己評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相互評価、グループでの話合い、黒板に書かれたこと等を踏まえてワークシートに自己評価を書くよう伝える。(5分) 	記述の分析 (提出されたワークシート)

まとめ (5分)	<p>① 説得力のある文章の条件について確認させる。</p> <p>② 本時の学習を振り返るとともに次時の学習の見通しを持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 黒板に書かれた、説得力のある文章の条件について確認させ、必要に応じて補足説明をする。 ・ 次時では、本時で行った評価を生かして、より説得力のある文章になるよう意見文を書き直すことを予告する。
-------------	---	--

7 本時の学習の評価規準

表現の仕方についての評価を通して得たことを、論理の構成や展開を工夫して書くことに生かし、説得力のある文章にしている。(書く能力)

※ 本時の評価(「記述の分析」)は、次のとおりに行う。

- 十分満足できる (A) … 自己評価において、自分の書いた文章の改善点を的確に指摘し、改善するための具体的な手立てまで言及している。
- 概ね満足できる (B) … 自己評価において、自分の書いた文章の改善点を的確に指摘している。
- 努力を要する (C) … 自己評価において、自分の書いた文章の改善点を的確に指摘していない。

